



シルバー がさま

第17号

平成27年7月17日（金）

発行 (公社) 笠間市シルバー人材センター
編集 広報部会
住所 笠間市石井717番地
電話番号 0296-73-0373

平成27年度運営状況

(平成27年6月30日現在)

正会員数 319名 男性 225名
女性 94名
就業率 79.3%
受注件数 1,056件
受注金額 43,789,002円

植木剪定



除草剤散布



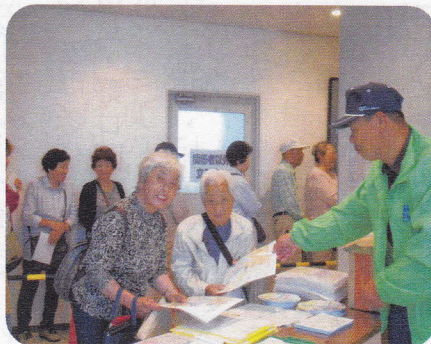
障子貼り替え



草刈作業



リサイクル (パソコン清掃)



プレミアム商品券
アンケート用紙配布

シルバー人材センターの「基本理念」

自主・・・センターを私達のものとして考えます。
自立・・・センターを私達の力で育てます。
共働・・・私達はいつも一緒に働きます。
共助・・・私達は互いに助け合います。



ご挨拶

理事長 入江 通弘



梅雨の季節ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

会員、役職員の皆様方には、日頃からシルバー人材センターの事業運営にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、六月の定時総会において、再度理事長を仰せつかりました。まだまだ未熟者の私ですが、職責の重さを改めて自覚し、シルバーでの事業運営発展のため、ご期待に応えられるよう努めていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人に移行して、三年が経過し、その果たすべき役割に対する期待も高まっています。公益法人として真に地域社会に愛され、信頼される団体となるためには、公益性のある事業展開を念頭に、更なる組織体制の強化の基に、高齢者の有する知識・技能・経験等を十分に活用し、課題や問題点を把握分析し、その実態を明確に認識して共有し、会員拡大や就業拡大、安全適正就業推進等を積極的に進める必要があります。関係機関等のご指導、ご助言を得ながら、会員、役職員が一体となり、全員でシルバーの基本理念の基に、地域社会に一層貢献できるセンターとして、更なる事業の発展に努めなければなりません。

シルバー会員の安全・適正就業及び健康管理は、シルバー人材センター事業の発展、拡充を図るうえで、全てに優先する課題であります。平素から健康には充分留意され、就業にあたっては、事故防止と安全確保に配慮し、会員同士が互いに助け合い、仕事を仲間と分かち合って仲良く活動すること、市民の皆様から喜ばれ、信頼を得て魅力あるセンター作りとなりますことを心からお願ひ申し上げます。私も微力ではありますが、皆様の活躍の場を少しでも広げていきますよう、仕事に取り組んでいく所存でございます。



平成二十七年年度

定時総会報告

日時 平成二十七年六月五日（金）

午後一時三十分～午後三時二〇分

会場 笠間公民館

会員数 総数三二五名（総会当日現在）

出席者 二四七名

（出席一〇一名 委任状一四六名）

来賓 山口伸樹市長・野口圓市議会副議長

議長 入江 通弘

議事録署名人 入江 通弘・加藤 善治

報告事項

報告第一号 平成二十六年補正予算について

報告第二号 平成二十七年事業計画について

報告第三号 平成二十七年収支予算について

報告第四号 平成二十六年事業報告について

決議事項

議案第一号 平成二十六年収支決算の承認に

ついて

監査報告

議案第二号 理事一二名の選任について

議案第三号 監事二名の選任について

慎重審議の結果原案のとおり可決承認されました。

役員紹介

総会において、理事の重任が決定いたしました。が、部会並びに安全・適正就業委員会の構成が変わりましたのでご報告申し上げます。

総務部会

| | |
|------|-------|
| 部会長 | 磯 護 |
| 副部会長 | 高橋 征男 |
| 部会員 | 斎藤 正澄 |
| 事務局 | 菅井 浩美 |

事業部会

| | |
|------|-------|
| 部会長 | 安見 平右 |
| 副部会長 | 深田 義弘 |
| 部会員 | 伊勢山勝利 |
| 部会員 | 稲見 栄治 |
| 事務局 | 岡野 千春 |

広報部会

| | |
|-----|-------|
| 部会長 | 大木征四郎 |
| 部会員 | 加藤 善治 |
| 部会員 | 小野 勝夫 |
| 事務局 | 船橋ひろみ |

安全・適正就業委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 安見 平右 |
| 理事 | |
| 副委員長 | 深田 義弘 |
| 理事 | 稲見 栄治 |
| 理事 | 伊勢山勝利 |
| 会員 | 増井 武男 |
| 会員 | 山口 道夫 |
| 会員 | 後藤 弘一 |
| 会員 | 小松崎 健 |
| 会員 | 渡邊 倬也 |
| 会員 | 小林 耕三 |
| 事務局 | 塩畑 太市 |
| 事務局 | 神野 悟司 |
| 事務局 | 岡野 千春 |



安全就業スローガン

慣れるほど無理な作業に増す危険

去る六月二十九日、第一回安全・適正就業委員会が開かれ、事故防止対策等について話し合いが行われました。

一、熱中症対策について

就業時は、通気性の良い服装や、こまめな水分補給を心掛けましょう。体調が悪くなったら無理をせず木陰等で休息を取り、改善が見られないときは、病院で手当を受けて下さい。

二、蜂刺され防止対策について

七月から十月の間は、スズメバチが特に活発に活動する時期で用心が必要です。就業場所に蜂の飛ぶ様子が見受けられる時は、近くに巣がある可能性があります。事務局には、十分に注意をして下さい。事務局には、蜂専用の殺虫剤も用意してありますので、必要な方は申し出て下さい。

三、混合油の携行缶について

刈払機等で使用する混合油を入れて持ち運びをする際、ペットボトルを使用している方がいるようですが、消防法で禁止されておりますので、金属製の携行缶を使用する事としますので徹底をお願いします。

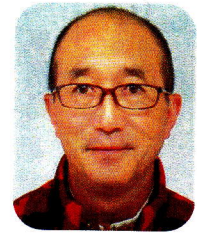
シルバー保険について

シルバー人材センターでは、会員と事務局の間には、雇用関係が結ばれていないため「シルバー保険」に加入していません。しかし、近年、全国的にシルバー会員による重篤事故が多発し、保険会社から保険料の値上げあるいは契約更新の辞退といった事例が散見され始めました。

当センターにおいても、例外ではなく今年度の契約更新時に、保険料の値上げという事態になりました。会員の皆様も安全就業には十二分に注意を払っていただいているかとは思いますが、なかなか事故が無くならないのが現状です。そこで、これまで傷害保険、賠償責任保険共に、事故の際全額保険による補償であったものを、賠償責任保険の免責額一万円までを、事故を起こした会員負担とさせていただきます。

これからも、事故を起こさないよう、事故に遭わないよう十分気を付けて就業してくださいようお願いいたします。

なかま



友部地区 森 英三

今年四月に入会しまし
た。

初仕事は、パソコン入
力作業。顧客のお母様が同人誌に投稿し
た短歌を一冊の本にするという大変有意
義な仕事をいただきました。また、昨年
五月末で三十二年間勤めていた会社を定
年退職した後、初めて得た収入にとても
感動しました。

五月からは、庭木の剪定作業をしてい
ます。初めての経験で、戸惑うばかりで
す。「鋏の音が聞こえない!」「掃除は
庭の奥からするんだ!」、鋏や三脚の使
い方、作業の合理的な進め方など、なる
ほどと思う指導を日々いただいています
六月には三十度を超える猛暑があり、ヘ
ルメットからだらだら流れ落ちる汗、朦
朧とする意識。辛い。鋏が止まる。
しかし、帰宅後ごくごく「プハ〜」と
音を立て飲むビールの爽快さを味わうの
は何十年ぶりでしょうか。
班長、先輩には迷惑
をおかけしますが、こ
れからもご指導をよろ
しくお願いします。



一緒に働くなかまを ご紹介ください!!

現在 シルバー人材センターでは、軽作
業（特に草刈・草取）に携わる会員さん
が不足し、繁忙期にはお仕事をいただ
いたお客様に1ヶ月以上お待ち頂くよう
な状況がございます。

そこで、現会員さんのお知り合いなど
でシルバーに興味がある方がいらっしや
いましたら、

是非入会を勧めてください。

シルバーって何?

どんな仕事をしているところなの?

どんな人が働いているの?

仕事の内容によっていくらぐらいもら
えるの?

1日働くのは自信がないかな・・・

など、どんな質問にもお答えします。

また、就業時間等のご相談にも応じます。

まずは、すでに登録されている会員さん
と一緒にシルバーの扉をたたいて下さい。

健康に感謝し、
社会に貢献できる
喜びを共に
わかちあいま
しょう!!

宜しくお願いします



笠間地区 森 とし子

私は、平成二十六年十月
三十日シルバー人材センター
に入会しました。初仕事は、
運動公園の中にある野球場の清掃の仕事で
した。女の人が三人、男の人が三人計六人
で清掃の仕事をしました。先輩の方々は、
親切で楽しく仕事ができました。
その後、草取班に入りました。少し不安
もありましたが、班長さんをはじめ、皆親
切で色々教えて頂き、仲良く仕事にガン
バっています。
これからもよろ
しくお願いします。

編集後記

笠間市も合併後十年の節目の年となり、
様々な記念行事が予定されています。少子
高齢化の波もじわじわと迫ってきて、学校
の統廃合などの影響もでてきています。
若者は進学と就職で転出して戻らないケー
スが多くなっています。一方、六十五歳以
上のいわゆる「高齢者」と呼ばれている方々
は、昔から比べて十歳位若くなっており、
働き盛りであるとの統計もあります。
健康と体調に留意して「シルバー人材」
の特性を活かしてお客様の要望に伝えてい
けるよう、それぞれの分野で頑張りましよ
う。

広報部会

大木 征四郎